



世界に希望を生み出そう

RI 会長：ゴードン R. マッキナリー

2620 地区ガバナー：中村 皇積

会長：渥美 聡一郎 幹事：志賀口 裕輔 会場監督：内山 義之

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2023年10月27日(金) 晴 第1637回例会 週報 NO. 13

司会：内田 努 会場監督補佐
点鐘：渥美 聡一郎 会長
ロータリーソング

「手に手つないで」

ゲスト

合同会社 un-Limited School
代表 木下 山多様

会長挨拶



10月15日の地区大会には多数のご参加ありがとうございました。地元開催で気軽に出席される機会でしたし、コロナ前を思い出すような盛大な会だったと思います。私と志賀口幹事は土曜日も会議に参加し、いろいろ話を聞きました。その中の神野重行 RI 会長代理のコメントには反省することがありました。例会の肝は会長挨拶なのだそうです。今まで思い付きで話をしていましたので、今後はもう少しためになる話をしようと思います。

21日(土)はパワー浜松 RC の創立 22 周年に参加してきました。会長幹事だけでしたが、とても鄭重なおもてなしを受けました。チャーターメンバーもたくさん残っていらして、普段と違う夜例会に皆さんとても楽しそうでした。

第 4 回理事会の報告をします。
2025-26 年のガバナー補佐は当

クラブ担当で、川井啓介さんの推薦が決まりました。木村嘉代子さんの退会も承認されました。

幹事報告



地区大会ご参加ありがとうございました。

委員会報告

☆会場監督 次廣晋一さん

いつも食事アンケートにご協力ありがとうございます。今日はご予算をたくさんかけたメニューです。ご要望の多いカレーは次回の例会でご用意する予定です。



地区表彰

*30 年以上 100%出席



*竹内公一さん*中山和彦さん
*辻祥治さん

スマイル

♪渥美聡一郎さん、志賀口裕輔さん
先日は地区大会へのご参加ありがとうございました。本日は木下山多氏の卓話です。宜しくお願いします。



♪中山和彦さん

今日は十三夜で月がとてもきれいです。



♪辻祥治さん

10月25日に皇居にて財務大臣表彰を受けました。皆様に感謝申し上げます。



♪佐藤芳一さん

先週我が事務所のインターネットがパンクし、渥美聡一郎さんの

力を借りて復帰することができました。ありがとうございます。



♪川井啓介さん

先日の地区大会お疲れさまでした。私は友情交換でみえたフィリピンの方々のお世話の担当でした。バナーも交換し友好を深めました。ぜひ姉妹クラブになってほしいと言われましたが、いかがですか？楽しい4時間でした。



♪成田裕之さん

本日は木下山多さんをお迎えし、貴重なお話を聞けることを楽しみにしています。



♪佐々木雄二さん

先日京都へ行ってきました。鈴虫寺で説法を聞き、その後、嵐山や伏見稲荷で合わせて2時間半歩き、1日のトータルは35,000歩。膝が悲鳴をあげました。



♪川井啓介さん、栗原伸夫さん
成田裕之さん
本日も満席です。



♪内山義之さん、竹内公一さん
内田努さん、次廣晋一さん
会場監督テーブル、満席です。



♪鬼頭秀行さん

本日で中 RC を退会させて頂きます。還暦の時に入会し、18 年過ぎました。会員の皆様にもいろいろお世話になり、数々の経験をさせて頂きました。感謝申し上げます。



《退会ご挨拶》 鬼頭秀行さん

私は60歳で入会しました。入会の年齢としては遅かったと思います。今までとは違う世界を見ることができ、ワクワクしました。推薦者は山口先生で、それまでも先生からは中 RC の話は聞いてはいました。当時は今の倍くらいの人数がいましたから、本当に活気もありました。これまでの間、本当に様々なことを経験させていただき、勉強になりました。皆様のおかげで刺激を受け、若さを頂けたと思います。これからも皆さん方と交誼ができれば幸いです。



卓話「人や自分を幸せにする もう一つのコミュニケーション」

☆ゲスト紹介：

成田裕之プログラム委員長



木下 山多様



ありがたいことに、これまで日本全国だけでなく、中国、マレーシア、エジプトなどの海外からも呼んでいただきました。でもロータリークラブでお話するのは今日が初めてです。

私はもともと総合商社で働いていましたが、ある時期日本の子どものための教育について考えるようになり、会社を辞めて英語の教師になりました。東京の自由な校風私立の学校で、フルタイムで担任をしながら正式に兼業許可を頂き、あちこちで研修を行ったり、本を出したり、テレビに出たりもしました。しかし、子どもより大人のメンタルの方が危ないのではと思うに至り、教師は辞めて今の仕事に絞ることにしました。間もなく9年目になります。

教師をやりながら、「サンタが贈るお母さんの教科書：あなたがママなら大丈夫！」という本も出版しました。子育て本なのに子育てに関係ない生命保険の営業所長の研修会やインストラクターのコミュニケーション研修で使われたりしました。2冊目「今日から子どもと心がかよう魔法のことば」も子育て本でしたが、日経に「最強のビジネス本」と紹介されました。子育ての講演会の時も、日本

中から経営者の方が来て、会社の質問をされたりしました。子育ても人育ても根本は一緒なのです。

その後電子書籍を出すにあたり、もっとインパクトのあるタイトルが良いのではということで、決めたのがこれです。「洗脳無き『別人化』はいかが？」。今出している最新の本は2019年の「元商社マン教師の学級経営革命」です。

講演会では多くの人は新しい情報を得ることや変化を求めているので、「相手や自分に変化を起こすコミュニケーションとは」という話をします。

人間の脳は二つ以上のものに同時に焦点を当てにくく、焦点が当たっている部分の能力は上がるのですが、それ以外の能力は下がります。ですから、その意識の焦点を自由にコントロールできたら能力の上げ下げが自由にできるのです。

また、人は質問をされるとそれに答えようとして、一瞬脳に空白ができます。そして空白ができると脳は24時間365日無休でそれを埋めようとします。人間の無意識の力は意識の力の何倍も強いのです。ですので人間が意識的に何かをしようとするなら、無意識の力を味方につけることが大事になります。

人の意識をコントロールしようとするなら質問をすることです。皆さんは社員や仲間とコミュニケーションをとる時に、指示をしていませんか？命令をしていませんか？否定していませんか？それはコミュニケーションの質を一気に下げています。そうではなく、質問をすることで人の可能性をより引き上げることができます。相手や自分に変化を起こすコミュニケーションのコツはいろいろありますが、疑問文を使ってコミュニケーションをすることを覚えてください。

何か良い考えがないかと思った時は、別の事を考えるようにしてください。無意識の時にパッと頭に浮かんだこと、それを

メモすればよいのです。空白を回すという言い方をします。浮かんだアイデアをメモするのが大事です。それを文章化するには時間がかかりますが、これを有効に使うと時間の使い方が全く変わります。

もう一つ、深いコミュニケーションについて。例えばつらいことがある時、見ず知らずの人にアドバイスをもらっても胸に響きません。が、ある程度信頼関係がある人からのアドバイスは些細な言葉も胸に響きます。信頼関係（ラポール）を作ることが大切です。そのために疑似的でも構わないのでごく短時間でラポールを作る方法があります。通常は下りやすい心のシャッターも、無意識レベルで「似てる」と感じた人には下りにくいという原理があります。ですのでこれを利用して相手の声の大きさ、トーン、テンション、身振り手振りなどを合わせるのです。それだけで疑似的な信頼関係を作ることができます。

誰かに何かを合わせなければいけない場面では、合わせるのには意見だと思っていませんでしたか。そうではなく、信頼関係が無意識に生まれるのは雰囲気とかテンションの方なのです。意見の違いは全く対立につながらなくてよいのです。が、そこで人間関係の対立になるのが日本人です。会議で意見の対立がある時に「落ち着いてください！」と言うのではなく、同じようなテンションで止めに行き、少しずつトーンダウンしていけば、相手も合わせて落ち着いてきます。

多くの人はリーダーシップの本質を勘違いしています。圧倒的な存在感や力で無理やり引っ張るのではなく、その人が自らそちらに進んでいるかのように引っ張ってあげないといけないのです。そして相手の意見に合わせるのではなく、相手のテンションに合わせることです。

人に何か変化を起こそうという時、やってはいけないのは人を変えようとする事です。

「あなたは変わらなくてよい」ということを前提に伝え、相手との信頼関係を作り、そこから導くのです。「変わらなさい」というのは「あなただめですよ」と言っているようなものです。あなたの置かれている環境、行動、持っている能力は人間の価値に一切影響をあたえません。行動と人間の価値は異なります。すべての人間の価値は一緒です。これが大前提で、行動は行動で切り離して考えるのです。行動は変えないといけないけれど、あなたという言う人間は変えなくてもよい。それを本気で伝えた時に人は驚くほど変わることができるのです。実際に自分が教師だった時に、学校に来られなくなっている女生徒が驚くほど変わったという経験もあります。

学校や会社に行けなくなるのは直前の出来事よりも、もっと以前の溜まり溜まったことに最近の出来事が引き金になるケースがほとんどです。

皆さんはリーダーとして下の人、ついてくる人を導くことが多いでしょう。問題行動を起こす人や変わりたいと思っている人を変えようとする時、いかに本気で変わる必要がないことを伝えることです。

実は今月末に「自己肯定感は低くてよい」という本を出します。今の日本のいじめ虐待はこの「自己肯定感」だと思っています。出版社には断られ、初めての自費出版ですがこれで日本の世の中の風潮を変えていきたいと思っています。

出席報告

発表：建部仁洋 出席委員

会員数	42名
出席者数	25名
出席算定会員数	35名
出席率	71.43%

前々回出席者数	27名
前々回出席率	77.14%